

No part of the candidate's evidence in this exemplar material may be presented in an external assessment for the purpose of gaining an NZQA qualification or award.

# S

93002



SUPERVISOR'S USE ONLY

## TOP SCHOLAR



NEW ZEALAND QUALIFICATIONS AUTHORITY  
MANA TOHU MĀTAURANGA O AOTEAROA

QUALIFY FOR THE FUTURE WORLD  
KIA NOHO TAKATŪ KI TŌ ĀMUA AO!

Tick this box if you  
have NOT written  
in this booklet

☐

## Scholarship 2022 Japanese

Time allowed: Three hours  
Total score: 24

Check that the National Student Number (NSN) on your admission slip is the same as the number at the top of this page.

There are two sections in this examination:

- Writing – Questions One and Two
- Speaking – Question Three

The writing section takes place during the first two hours of the examination. Answer Questions One and Two in this booklet.

The speaking section takes place in the third hour of the examination. The supervisor will let you know when you are to go to the recording room, where you will receive Question Three.

If you need more room for your answer to Question One or Question Two, use the extra space provided at the back of this booklet.

Check that this booklet has pages 2–14 in the correct order and that none of these pages is blank.

Do not write in any cross-hatched area (XXXX). This area may be cut off when the booklet is marked.

**YOU MUST HAND THIS BOOKLET TO THE SUPERVISOR AT THE END OF THE EXAMINATION.**

**LISTENING PASSAGE:** <sup>いませかい</sup> 今世界に <sup>ひつよう</sup> 必要なのは <sup>あい</sup> 愛。 <sup>みんなのため</sup> みんなのための愛。  
**What the world needs now is love. Love for everyone.**

Listen to the conversation between Kenji, a Japanese teenager, and his mother, as they talk about a song she is listening to.

Refer to the conversation in your answer to Question One on page 3.

You will hear the passage three times:

- The first time, you will hear it as a whole.
- The second and third times, you will hear it in sections, with a pause after each.
- As you listen, you may make notes in the space provided.

**Glossed vocabulary**

|       |                               |      |         |
|-------|-------------------------------|------|---------|
| あい    | love                          | じぶん  | oneself |
| かんきょう | environment                   | ウーバー | Uber    |
| つきあう  | to associate / socialise with |      |         |

**LISTENING NOTES** <sup>ちきょう</sup> ちきょう <sup>おんたんだ</sup> おんたんだ

Too little love  
 Mom what plan to? <sup>社会</sup> 社会  
 old American song  
 mom didn't know  
 what kind?  
 would has not see now  
 was so no need for now  
 world needs love  
 Beautiful song  
 Today's world nature  
 more ppl less ~~more~~  
 mom didn't world has changed  
 to when song  
 cities expand <sup>学校</sup> 学校  
 less houses  
 everybody getting  
 not protect  
 changed: - <sup>文化</sup> 文化  
 - Internet or  
 phones  
 After school / weekend  
 play outside  
 watch TV with him  
 after dinner  
 He today with grandpa

talk to grandpa  
 not sure (today)  
 Mom closed mouth  
すし (じ) つきあい  
 used to know neighbors  
 very well  
 Never met her next door  
 Today: big city, super, huge  
 close  
 ppl can go anywhere with  
 Uber  
 No need for neighbors for help  
 said it don't know me  
 come helping hand (love)  
 lots of types of love

## QUESTION ONE

Compared to previous generations, what are some of the changes facing the world today?  
Give reasons for your answer, with evidence from the listening passage and from your own and others' experiences.

前の世代と比べて、今日の世界が直面している変化にはどんなものがあると思いますか。

会話で聞いた内容、また、自分と他の人の経験に触れながら、その理由も述べてください。

Respond in Japanese.

「今世界に必要なのは愛」ということには同意します。だが、前の世代と比べると、「愛」とはどういうものなのか、少し化したとおもいます。わたしたちのお父さんお母さんのころから世界はいろいろなばいんでかわりました。たとえば、このなん十年間で、はじめても社会もはったつしたおかげで、今のしょうねんたちには「ばんがいい」なものが、~~は~~「ばんき」にしている世界のもんたがい。はわたしたちのお父さんお母さんが子どもだった時とちがうと思います。

~~むかし~~ むかしと比べたときにもっとちがって、~~むかし~~ とくにし化したところ、はじめてのテクノロジーのことです。けんじさんの母が、いったように、~~むかし~~ はスマホや SNS はありませんでした。だからこれによって、学校のほうかづやしゃいんのすびしかたは、今日はけんじさんが子どもだったときとぜんぜんちがいます。けんじさんは、(1)たいが SNS があるからあまりともがちとあひあひでもゲームをしたりできるから人と合うは「めんが」~~むかし~~ すくないです。それと~~むかし~~ 比べると、むかしはテクノロジーは今ほどなかったからともがちと合うのがもっとたくさんあったと思います。でも、テクノロジーがはったつしたことによってのえいきょうは世界のもんたがいについての「めん」でもあります。まず、ちきゅうおんたんかはむかしからおこっているもんたがいですが、わたしたちの世代の時からニュージーランドや世界のせいじかはたいへんでしやうなもんたいだともみとめています。わたしは、これは SNS のおかげだと思っています。SNS をつかうと世界のどこまでもおきていることについてしる事ができます。

● 今日とちがって

たとえば、2019年にスウェーデンの 'Greta Thunberg' といえうねんが ~~ちきゅうおんたん~~ <sup>スライキ</sup> をしてそのしんは SNS で世界の生とたちにまわりました。そのおかげで、世思のしうねんたちはどう時に大きなプロテストをし、しんをまもろなくてはいけないということをせうか ~~たち~~ <sup>たち</sup> にしうて、~~せう~~ ~~たち~~ <sup>せう</sup> たちはうごきました。

むかしと比べると、ほかにもぎじゅつが ~~変化~~ <sup>変化</sup> していろいろがあります。たとえば、今日の社会では UBER や ひろき のやすいチケットのおかげで、うくいのいどうがもっとかんたんになりました。その理由で今日のしうねんたちのおと年も ニュージーランドでは クイーンズタウン にしうまつだけに行くとか UBER EATS でそいでなくてもたべものを ~~た~~ <sup>た</sup> むことかできるよになりました。そのことで、きんじよにあわないことや、けんじさん ~~み~~ <sup>み</sup> たいにとなりのおじさんのなまえをしらないということが、むかしはかんがえられないことだったのに今日は多いです。だからきんじよがなにかをつたうがひつような ~~時~~ <sup>時</sup> とかもつたわらないということが、今のしうねんたちにはずんねんなから多いです。でも、~~この~~ <sup>この</sup> ぎじゅつのはつたつのよ ~~ところ~~ <sup>ところ</sup> もあります。たとえば、むかしはうくいのいどうは UBER とかながたからむずかしくて、おじいちゃんやおばあちゃんにうしあめんはすくすくながたです。でも、今日の世界ではもし日本にかぞくがいろとしたらかんたんにあいにいけるからそばやおじいちゃんのおんどをみにいくとかがかんたんになったのでそのふうにあをすることがかむかしはあまりなかつたけど、今はあります。ほかにも、もし ~~き~~ <sup>き</sup> 年やおと年みたいにコロナで日本にかえれないということがあっても LINE や ~~ほか~~ <sup>ほか</sup> の SNS でかぞくとはなせるよでかぞくにあをすることがかんたんになりました。

さいごに、SNS のおかげで、しらない人が ~~き~~ <sup>き</sup> けんやたいへんなめにあったときにその人にあをみせるということがむかしは ~~ほ~~ <sup>ほ</sup> ばながたとおもうけど今はあります。たとえば、

今のウクライナの戦争はニューズランドや日本からずっと  
はなれたところでおきてるけど、そんなとていいところでたいへんなめ  
にっている人たを ~~たす~~ けるとか てつた"うことはテクノロジー  
や SNS のおかげ"だ"と思います。 ~~●~~ 戦争のど"テオ"や"しん"が  
SNS にのって、とうくにいわわたしたちが" ~~見る~~ 見ると、わたしたちみ  
~~たい~~ たいな しんげんの人たがたいへんなめにっている"と見て てつた  
たい"と思って、ほきんをしたりします。

このように、今日の社会での「愛」の意味はテクノロジー  
や SNS がはつた"うこ"ととともに ~~まし~~ 化した"うこ"と思います。おかし  
はもと きんじ"うきあい"とかと"わ"ちとあって、そのように ~~愛~~ 愛をみせて  
いました。でも今日は世界の大きな ~~もん~~ もんたいに きょうみをもつ  
とか、はなれているところの人をてつた"うかん"で"愛"をみせています。  
でも、もんたいのタイトルのように「今世界に必要なのは愛。みんなの  
ための愛」ということにつよく同意して、今日のうねん ~~た~~ たちは  
~~つき~~ つきあいとかもとしたほうが"いい"と思います。

近所

## READING TEXTS

Young people around the world often come together to discuss how to make the world a better place. The three texts on pages 6–8 involve young people doing just that. Read the texts and refer to them in your answer to Question Two on page 9.

### TEXT ONE

Text One is a blog, where young people can ask and respond to questions about the environment.

#### Glossed vocabulary

かんきょう environment  
ちから power  
ブログ blog  
おしえる to teach

リサイクル recycle  
スマホ smartphone  
ケース case  
せいひん product

私たちがかんきょうのために何ができるか、かんがえたことがあるだろうか。  
今までと同じことをしていたらだめだ。私たちにはお金もちからもあまりないので、  
大きいことはできない。でも、私たち1人1人ができる小さいことはたくさんある  
はずだ。かんきょうをまもるためのいいかんがえがあったら、このブログで  
しょうかいするから、私におしえてほしい。よろしく！

#### Enviro

トム: シャワーをあびる時間をできるだけみじかくしたり、へやにいない時には  
電気をけしておいたりしたら、しげんをまもることができる。

protect resources

<sup>ちはる</sup>千春: 日本では、まだつかえる物をすてると、「もったいない」と言う。何でも  
大せつにしなければならぬというのが、しんとうのかんがえ方だ。だから、  
たとえば、ふるくなったきものがあったら、ごみに出さなくて、リサイクルして、  
かばんやスマホのケースをつくったらいい。

recycle

サンホ: 買い物に行って、せいひんをえらぶ時、それがどんなしげんをつかつて  
できているか、どこから来たか、あんぜんかどうかをしらべて、かんきょうに  
やさしい物だけ買ったほうがいい。

product sustainability

## TEXT TWO

Text Two is a notice about Kura Taiao/Enviroschools, in an information pack for Japanese exchange students at a New Zealand school.

## Glossed vocabulary

かんきょう environment  
 へんどう change  
 ストライキ strike  
 プロテスト protest

ツバル Tuvalu  
 じぶん oneself  
 たいへいよう Pacific Ocean  
 ランチ lunch

## エンバイロスクール Kura Taiao Enviroschools

エンバイロスクールは、かんきょう教いくを大せつに  
 している学校です。私たちの学校も、エンバイロスクールで、  
かんきょうもんだいについてかんがえるクラブがあります。

グレッタ・トゥーンベリは、きこうへんどうについて話  
 をしたり、ストライキをしたりしています。私たち  
 も2019年に、学校に行かないで、ストライキを  
 することにしました。私たち高校生がかんきょう  
 もんだいをどう思っているかについて大人が  
 聞かないから、それにプロテストしたかったのです。

グレッタ・トゥーンベリ

protest

私たちのクラブには、ツバルから来た生ともいます。  
 この生とは、「ツバルのような小さい島では、  
 きこうへんどうで、毎日のせいかつにえいきょう  
 が出て、みんなこまっている。ニュージーランド  
 人は、じぶんの国だけじゃなくて、ほかの国の  
こともかんがえなければならない」と言っています。  
 それで、今年、私たちは、たいへいようの島に  
 住んでいる人たちのために、お金をあつめることに  
 しました。私たちは、昼休みにランチをつくって  
売っています。みなさん、買いに来てください。

stories

Dona Bens

## TEXT THREE

Text Three is a social media post on a New Zealand university website. The university is asking for its Japanese exchange students to join a Student Volunteer Army.

## Glossed vocabulary

|        |            |       |              |
|--------|------------|-------|--------------|
| ボランティア | volunteer  | やくにたつ | to be useful |
| もとめる   | to ask for | むだ    | a waste      |
| チャレンジ  | challenge  | とどける  | to deliver   |
| チャンス   | chance     | アプリ   | app          |

## ボランティアって何だ？

何ももとめないでだれかのために何かをしたら、それがボランティアだ。おとうとやいもうとのせわをしてやったり、近所のお年よりといっしょに話をしてあげたりするのもボランティアだ。

## どうしてボランティアをするのか

ボランティアをしない人とくらべると、ボランティアをする人は、せいかつがもったのしくなる。学生なら、とくにそうだ。新しい友だちがつくれるし、新しいことにチャレンジできるし、しょうらい、いいしごとを見つけるチャンスもふえる。

## ボランティアの話

田中さとしくん：「ぼくは今まで時間があつたら、けいたいでゲームをしたりSNSを見たりしていた。しけんのけっかについてずっとかんがえていて、ストレスがたまったこともあった。でも、ひまな時間をボランティアにつかったら、ほかの人のやくにたてるし、時間をむだにしてしまったと思わなくなった。」

たくさんのお年よりが1人でさびしくせいかつしている。外国人りゅう学生のさとしくんには、そんな人のために、食べ物をとどける ボランティアをしてもらった。さとしくん、大せつなしごとをしてくれて、ありがとう。

スーパーに買い物に行けない人のおてつだいをしたい人がいたら、アプリをダウンロードして、サインアップしてほしい。みんな、これからもよろしく。

Volunteering



## QUESTION TWO

What can young people today do to help make the world a better place?

Support your answer with evidence from the three reading texts, and from your own and others' experiences. Develop a structured and well considered argument.

よ世の中をよくするために、今の若者<sup>わかもの</sup>に何ができますか。3つの読み物の内容<sup>ないよう</sup>、また、自分<sup>じぶん</sup>と他の人<sup>ほか</sup>の経験<sup>けいけん</sup>に触れながら、あなたの意見<sup>いけん</sup>をサポートしてください。

Respond in English or te reo Māori.

Young people today are not very rich and are very busy but have a lot of power to influence their futures and change the world for the better. There are ways in which we can tackle the huge and prominent crises of our lifetimes such as climate change and the isolation of our elders which are issues that require all of us to help to tackle - ~~both~~ at an <sup>individual</sup> ~~individual~~, ~~and~~ systematic (institutional level), and communal level.

Today, we young people have greater ability to connect and converse with people both local and foreign and therefore have enormous influence and ability to inspire social change, and this is very effective at addressing an issue as vast as climate change, by tackling each little component of it (eg. excessive waste, resource exploitation etc.). Through the use of blogs or social media platforms like Instagram, it is now very easy to share ideas and approaches on how we can individually play our part to tackle climate change. As we can see in text one, the author of the blog invites readers to share ideas and advice on how they can do this: for example, Tom says that they take shorter showers and make sure that the light in their room is off when Tom is not there in order to save water and light. This is an example of a practical solution that one can offer on a platform like a blog to people all around the world to try themselves. Because the solution is practical and easy to follow, the issue of climate change becomes less daunting and compels readers to want to play their part instead of dismissing the crisis as

being too vast to handle. The blog / social media platform also offers room for creativity in tackling climate change. In texture, Chihiro talks about the value of recycling and the need to reuse or fix old belongings - while the solution that they offer (making bags or phone cases) is practical, it is also creative and fun which would further influence readers to try this out themselves. This is very effective when it comes to tackling the issue of climate change, as this method of using social media deliberately uses the social media effect of FOMO (fear of missing out) which encourages more people to get involved. This is great because in an issue as large and omnipresent as climate change, the more people that help tackle it the higher the likelihood that we can overcome it.

Another area of the large issues of our lifetime is the institutional aspect - particularly in climate change. Today, we know that fossil fuel companies are still making huge profits but young people do not have any financial or political influence to address the issue. Therefore, it is important that we make our voices and concerns heard to governments and elected officials who do have the ability to stop these large polluting companies - by protesting and striking. After news of Greta Thunberg's school strike for climate in her home country spread to young people around the world, young people globally were inspired to go out in huge numbers - including in NZ to protest and fight for our futures. This leads to politicians being able to see just how pressing an issue this is and how damaging the work of these companies are to us and therefore compel governments to draft laws to phase out fossil fuels and tackle climate change at a macro and institutional level. Protesting and striking has a history of working to champion

women's rights; gay rights; ~~the~~ human rights, and therefore ~~the~~ gives us a lot of power to stand up, as ordinary citizens and the adults of tomorrow for the lives of our generation and all successive generations.

Finally, as we see in Text 3, there is a practical way for us to tackle larger issues at a communal level. Volunteering is something that is very accessible to us - anyone can be a volunteer and do volunteer work whenever they want, and has a huge impact on the community. On the issue of the isolation of elderly, volunteering is very effective because our elders do not need to pay anything to see and talk to someone, and volunteers are motivated by nothing but a desire and spirit to give a helping hand to the needy. These are both crucial things in helping out our elderly and to improve their mental health. However, volunteering also benefits the world by benefiting young people too. Volunteering encourages one to try new skills and meet new people which is practical as being more connected and more skilled is beneficial after finishing high school / university, but also good for our personal health. Volunteering encourages busy students to take a break from being inside all day studying and to go out to do some physical volunteering work or social volunteering work which is something that can keep us both physically healthy, and mentally healthy as we are able to put aside the stresses and worries of school and life as we chat to others while serving the community at the same time.

As such, although young people today do not have much financial or political power, we have the ability to tackle the greatest issues of our lives at an individual, institutional and communal level. Through the unique technologies of our time such as

Extra space if required.

Write the question number(s) if applicable.

QUESTION  
NUMBER

2

Social media, we are able to encourage more people to get involved and have a bigger impact on issues that affect all of us - such as climate change and the isolation of the elderly. I believe that young people today live in a unique time where these unique tools allow us to have an impact that is so large and a capability to make the world a better place at a level and rate that has not been possible in the past.

**Acknowledgements**

Material from the following sources has been adapted for use in this assessment:

**Page 6**

<https://elonawareness.wordpress.com/2013/11/14/helping-the-environment-isnt-just-a-green-revolution-but-a-cultural-revolution/>

**Page 7**

<https://www.horizons.govt.nz/managing-natural-resources/enviroschools>  
<https://www.forbes.com/sites/johnbbrandon/2019/12/11/time-magazine-names-greta-thunberg-the-person-of-the-year-but-twitter-erupts-in-protest-the-reason-may-surprise-you/?sh=3a28e3e81399>  
<https://edition.cnn.com/interactive/2019/05/world/tuvalu-climate-change-cnnphotos/>

**Page 8**

<https://www.1news.co.nz/2021/03/01/student-volunteer-army-once-again-grocery-shopping-for-the-vulnerable-in-auckland-amid-lockdown/>